

基本目標	風土に根ざした産業をつくる				
成果指標	町内総生産	本年度 目標値	550 億円 (H27)	現状値	507.4 億円 (H26)
成果指標		本年度 目標値		現状値	

	実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
第 1 四半期	【政策 1 成長産業としての農業の確立】については、KPI 新規就農者、担い手集積率ともに今期の増加はなかったが、現在 1 名の新規就農者を見込んでいる。小泉・本沼地区の畑地帯総合整備事業において推進協議会を開催、事業に向けた同意を採り、90%を超えた同意率となり、今年度に事業申請をすることとなった。 道の駅については来場者が今年度 19 万 2 千人、通算 53 万人を超え、ドレッシングやプリンなどの道の駅オリジナル商品も好評で、売り上げが 1 億 1 千万円(税抜き)と順調に推移している。 【政策 2 スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり】については、起業支援補助金の 2 件を決定した。 益子焼きについては、道の駅で企画展「土は語る 現在編、未来編」を開催、益子焼き使おう条例案の検討、新商品開発検討会議を開催した。国際工芸交流事業では、公募作家 2 名が 3 月から 5 月まで滞在し、作陶のほかギャラリートーク、ワークショップを開催した。 有効求人倍率は 5 月においては 0.74 であり昨年同期の 0.40 を大きく上回った。雇用支援奨励金制度が 4 月からスタートし、県内外の学生に周知を図った。ビジネスパソコン講座は好評で募集定員を大幅に超え、定員(各 15 名)を増して開催または開催を予定している。 【政策 3 観光の基幹産業化】については、観光客入込数は陶器市、道の駅などが順調だった。ラーニングバケーションは 4 事業について協議し、参加者の募集及び実施を行った。DCでは、プレDC事業全国宣伝促進販売会議に参加、旅行事業関係者の訪問を受け案内・説明を行った。平成館改修事業支援プロジェクト会議を開催し、意見を聴取した。土祭実行委員会を開催するとともに、前土祭に向けた地区委員会を開催した。	【政策 1】小泉・本沼地区の畑地帯総合整備事業の実施に向けて、申請の支援、地域の事業への理解を図り、受益者負担金の軽減を図るため中心経営体農地集積促進事業、農地中間管理事業を進めるとともに、未同意者への同意取得を進めていく。また、作付作物について、県振興事務所、JA等と検討を進める。 道の駅においては、ブルーベリー以外の夏商品の確保、新規商品開発を図る。ギフトカタログの周知を図るとともに、通販サイト開設により販路拡大を図る。 【政策 2】起業支援については、問い合わせや情報を収集し、起業に向けて制度の周知、情報の提供をさらに進める。 ブランド商品認証制度については、内容の検討を行い、構築を図る。益子焼き使おう条例を制定し、関連事業を検討し、利用促進を図り、益子焼き新商品の開発、販路開拓の支援を図る。就労支援では、求職者のためのスキルアップセミナーの開催により支援を進める。 【政策 3】観光戦略会議は会議設置に向け、委員や会議内容を検討する。 DCでは女性目線のおもてなし、周遊マップなど実行委員会への参加・支援を行う。前土祭は、地区委員会において実施事業を検討し、地域と連携を図り開催する。

基本目標	風土に根ざした産業をつくる				
成果指標	町内総生産	本年度 目標値	550 億円 (H27)	現状値	507.4 億円 (H26)
成果指標		本年度 目標値		現状値	

	実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
第2四半期	【政策1 成長産業としての農業の確立】については、小泉・本沼地区畑地帯総合整備事業は事業推進協議会を開催し事業エリアを確定した。また事業推進に農地中間管理事業補助金を活用するため、農地集積に向けた手続きを進めた。新規就農者については今期 2 名の就農があった。また、新規就農者育成のため、農業次世代人材投資事業審査会を開催し、28 年度に新規就農した 2 人を事業認定し支援を決定した。 道の駅については 8 月のお盆ひまわりフェア、9 月のお彼岸フェアを開催、多くの来場者があった。期間外に来場者も増加し、売り上げも順調に伸びた。来場者が 35 万人、売り上げが 2 億円を超えた。 【政策2 スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり】については、起業支援補助金 1 件を決定した。中小企業振興資金融資が 39 件で、昨年同期より 8 件増加した。 益子焼については、利用促進を図るため「益子焼を使おう条例」を制定し、条例推進の取り組みを関係団体に依頼するとともに、SNS による益子焼の魅力の発信を開始した。国際工芸交流事業では公募作家展の開催、次年度の公募を行った。 8 月の有効求人倍率は 0.71 であり、目標値を維持している。求職者向けセミナーを開催、受講者の人気が高かった。 【政策3 観光の基幹産業化】については、観光客の入込数は今年前半(1～6月)140 万人で道の駅の増加もあり大きな伸びであり、今期においても、道の駅、ひまわり祭等順調に推移している。 ラーニングパッケージはおおむね好評に実施されている。前・土祭は、3 地区開催に向けて各地区委員会が準備を進め、9 月 30 日に益子地区で開催、民間主導で多くの参加者、来場者があり成功だった。 インバウンド対策で商工会主催によるカンタンカタコト英会話講座に共催、おもてなしの気持ち、販売チャンスの獲得を図った。	【政策1】小泉・本沼地区の畑地帯総合整備事業は、事業採択に向けて、益子町土地改良区編入の手続き、事業計画の作成を進める。また農地の集積を進め、事業補助率を向上させ地元負担金の軽減を図り、事業の円滑化を図る。未同意者の同意取得は引き続き行う。新規就農者には、地元農業者、農業委員、振興事務所等の支援により、フォローアップを行う。 道の駅においては、1 周年事業、コスモス祭、秋の陶器市などのイベントへの対応を図る。新規開発商品の PR、キッチンカーの活用、冬用ギフトカタログにより、販売の拡大を進め、図る。 【政策2】起業支援補助金の申請が多数見込まれるため、適切な申請支援を行うとともに、商工会や金融機関の協力により、起業、事業の支援を図る。 益子焼については「益子焼を使おう条例」の周知を図り、益子焼を使ってもらえる仕組み作りを検討する。 就労支援では合同就職面接会が市貝町と合同開催となり、参加企業数、求職者数が増加するため関係機関との調整を図り準備を進める。 【政策3】ラーニングパッケージについては、滞在型のプログラム設定と事業化に向けた転換が必要であり検討を進める。土祭は田野地区、七井地区の前・土祭を開催、本土祭に向けた運営体制づくり、事業内容の検討を進める。 インバウンドでは、免税店化、クレジットカード取扱店化に向けて説明会を開催準備を進める。

基本目標	風土に根ざした産業をつくる				
成果指標	町内総生産	本年度 目標値	550 億円 (H27)	現状値	507.4 億円 (H26)
成果指標		本年度 目標値		現状値	

	実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
第3 四半期	【政策1 成長産業としての農業の確立】については、小泉・本沼地区畑地帯総合整備事業は、町土地改良区編入の手続き、事業計画概要の縦覧の実施、県への事業認可申請を行い、事業化を進めるとともに、集落営農組織立ち上げのための会合を行った。 道の駅については、オープン1周年を迎えた。1周年フェア、前土祭や新そば祭りの会場となるほか、コスモス祭や陶器市等で大勢の来客があった。また、キッチンカーの導入活用、県外での商品展示販売を実施するなどにより、新規顧客開拓、PR活動を行った。今年度の来場者50.8万人、売り上げが3.3億円(税抜)となった。 【政策2 スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり】については、起業支援補助金4件を決定し、事業承継セミナーを開催した。ものづくりの育成・支援のため、道の駅において「益子の生活道具展」を開催し、手仕事の良さを伝えた。 益子焼については、「益子焼を使おう条例」周知のためのポスター、チラシを作製、陶器市・町民まつり・各種イベントにおいてPRノベルティの配布を行った。 有効求人倍率は11月において0.84であり、上昇している。 【政策3 観光の基幹産業化】については、秋の第100回陶器市の22万人やコスモス祭、道の駅等への観光客が増加した。田野地区・七井地区での初めての前土祭の開催も盛況であり、散歩市・ポタリング・トレランなど民間主導イベントも引き続き開催された。 益子大使に2名を委嘱、新規の益子宣伝部長に2名を委嘱した。	【政策1】小泉・本沼地区畑地帯総合整備事業は、事業認可及び、事業の実進を進めるとともに、集落営農組織化に向けた取り組みを進める。また、里西・星の宮、西明寺地区の土地改良事業については、地元の意向を把握に努める。 道の駅においては、駐車場不足解消のため、整備を進める。天候不順・低温による商品不足への対応、作付けの推進、商品の充実、品質の確保、新商品の開発に努める。 【政策2】起業支援補助金については、起業及び申し込みが増加しているが、事業の効果や補助の必要性等を考慮した支援内容への検討を行う。 益子焼の新商品開発については商品化を進めるとともに、新商品発表会の開催、販売先・販売ルートの確保、生産体制の確立を進める。販路拡大のための海外向け商品開発や、消費拡大策の検討を進める。 就労支援においては、合同就職面接会の開催により、雇用の掘り起こしによる就業機会の増を図るとともに、雇用拡大に伴う人材不足に対して就労希望者の掘り起こしを図る。 【政策3】観光戦略会議を開催し、観光関係者の連携と誘客に向けた取り組みを検討する。宿泊においては平成館の改修工事を進め次年度に向けた検討を進めるとともに、土祭におけるゲストハウスの検討を進める。 4月からのDCでの誘客を図るため、実行委員会において、具体的な計画や商品の開発を図る。 土祭は本土祭に向けて、実行委員会において日程や事業内容を決定し、関係者との調整を進める。 インバウンドについては、商店の免税店化、クレジット取り扱い店の増に向けたセミナーを開催し、外国人旅行者受け入れの環境整備を図る。

基本目標	風土に根ざした産業をつくる				
成果指標	町内総生産	本年度 目標値	550 億円 (H27)	現状値	507.4 億円 (H26)
成果指標		本年度 目標値		現状値	

	実施内容・成果の総括	次年度の方針
本年度総括 (第 4 四半期分も含む)	【政策1 成長産業としての農業の確立】については、農地バンク制度がスタートした。農地の貸付・売渡希望者の情報データを集め整理した。小泉・本沼地区畑地帯総合整備事業は益子町土地改良区に編入し、土地改良事業採択申請を行った。また、小泉・本沼集落営農組合が設立され農地中間管理機構事業を活用し農地の集積を図った。 道の駅は、来場者数 65.2 万人、売上高 4.5 億円(税抜)となり目標を大きく上回った。4 月に累計来場者が 100 万人になる。駐車場不足対策として臨時駐車場を整備した。道の駅生産者協議会等による農薬・種苗講習会、新規出荷者の相談会を実施、生産体制の整備、拡大を図った。首都圏駅等でのイベントに参加PRを行い、販路の開拓を行った。県等による食と農インバウンド推進検討会により、いちごをタイへ輸出した。 【政策2 スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり】については、起業支援補助金を利用した起業が本年度 7 件、累計 19 件、空き店舗利用は本年度なかった。経営についてのノウハウを身に付けた方、若い経営者、空き店舗の活用などにに対する加算や、事務所賃借料の補助制度を新設するなどの見直しを行い、より事業効果が上がるように要綱を改正した。 就労支援では、市貝町と共に合同就職面接会を開催し、17 社の参加、31 名の求職者が集まった。求職者は少なかったが、6 名の採用となった。有効求人倍率は年平均で 0.74、2 月において 0.93 であった。 【政策3 観光の基幹産業化】については、観光客入込数 258 万人、宿泊者数 47,110 人、外国人宿泊者数 960 人で、目標値を大きく上回った。ラーニングパッケージは 4 事業を予定どおり終了、土祭は地区委員会等を開催し実施計画案を作成、DC 事業は 4 月からの本番に向けた準備を進めた。	【政策1】農地バンクについては農業委員・農地最適化推進委員の協力を得て、農業のために農地を利用したい借受・買受希望者に、集積した農地情報を提供し、貸付希望者等とのマッチングを行い、農地の効率的な活用を図る。小泉・本沼地区畑地帯総合整備事業は、事業開始により測量作業や換地計画作成への支援を行うとともに、作付作物の選定など営農計画作業に着手する。その他、土地改良事業、集落営農組織、法人化に向けた支援を行い、農地の集積を進める。 道の駅では、観光業の取得により、農業と観光業を連携した企画販売、益子産農産物を使用した新商品開発を進め、生産と販路の拡大を図る。 【政策2】起業支援は補助金の制度改正により、若い経営者、やる気のある経営者により厚い支援制度となり、県・商工会・金融機関の支援をさらに厚くし経営の安定化を図る。ブランド商品認定制度は、認定委員会を早期に立ち上げ、認定による商品のPR・販路拡大を図り、農産物加工食品の開発を進める。 益子焼新商品の発表会を開催、新たな需要を開拓する。台湾トップセールスを実施し、益子焼の認知、PRを進め、販路の確保・拡大を図る。就労支援では引き続き合同就職説明会による雇用拡大と、求職者セミナーの開催により就労支援、就労意欲の向上を図り、求職者の確保を進める。 【政策3】各種産業の連携により、新たな観光素材の開拓、商品開発を戦略的にを行い、事業化を図り、観光客誘客を進める。 土祭は 9 月の開催に向けて、事業内容の精査、運営体制の確立、地区委員会の支援等準備を進めるとともに、外部に対する広報PR体制を構築し、開催の周知を図る。 平成館工事は最終年度であり、意匠、構造設計の連携を密に工事を進める。運営方法を早期に決定し、来年度のオープンに向けた準備を進める。

		課局名	農政課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	成長産業としての農業の確立		
施策	農業生産体制の整備	進捗状況	100%		
KPI	新規就農者数（H26年度からの累計）	本年度目標値	12人	現状値	15人
KPI	担い手集積率	本年度目標値	37.0%	現状値	38.4%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）			
主な 取組 内容	4月	①②新規就農者2名のフォローアップを実施。 ③4/21認定農業者協議会総会を開催し、年次計画を提示。 ④芳賀町に建設予定の新食肉センター整備に関する調整（随時） ④4/19小泉・本沼地区事業推進協議会を開催（第18回） ④4/21道の駅の指定管理者と生産振興に関する意見交換			
	5月	①②新規就農希望者に対するフォローアップを随時行なう。 ③認定農業者及び集落営農組織、農業法人等に対して、農地の利用集積面積の拡大支援を行なう。 ④畑地帯総合整備事業を推進し、施設園芸作物の規模拡大を図る。			
	6月	①②5/2新規就農者2名との打合せ ①②5/11環境保全型農業直接支払交付金事業1件打合せ ③5/22益子町農業再生協議会総会 ④5/22真岡北陵高校との連携打合せ ④5/26益子町農業振興地域整備促進協議会			
	7月	①～④ 農業生産体制の整備に向けた協議・打合せを実施。 6/12種苗講習会（20名） 新規就農フォローアップ 水田確認 ④小泉・本沼地区6/12.22事業推進協議会を開催（第19・20回）			
	8月	①②新規就農希望者に対するフォローアップを随時行なう。 ③認定農業者及び集落営農組織、農業法人等に対して、農地の利用集積面積の拡大支援を行なう。 ④畑地帯総合整備事業を推進し、施設園芸作物の規模拡大を図る。			
	9月	①～④ 新規就農者のフォローアップを実施、果樹の産地化に向けた打合せを実施 農業生産体制の整備に向けた協議・打合せを実施 9/8本田技術研究所農家ヒアリング 9/11-16真岡北陵高校のインターンシップ受け入れ 9/28経営会議 9/30町民大学講義（道の駅）の実施 ④9/27小泉・本沼地区事業推進協議会を開催（第22回）			
	10月	①農地バンク登録へ向けて準備中（様式の作成、バンク登録へのあっせん通知） 認定農業者役員会、農業士管外研修の開催 10/17果樹産地化説明会への参加 10/18就農支援ネットワーク会議の開催 10/26畑地帯推進協議会意見交換会			
	11月	①～④農業生産体制の整備に向けた協議・打合せを実施。 11/1小泉・本沼地区事業推進協議会を開催（第23回） 11/15-16就農体験マイチャレンジ受け入れ（益子中）3名。 11/24果樹産地化計画の策定に向けた打合せ 11/24益子西小学校校外学習 11/28カンパニー経営会議・取組役会 11/29田野小学校道の駅開通発表会（田野小）			
	12月	①～④農業生産体制の整備に向けた協議・打合せを実施。 12/7小泉・本沼地区事業推進協議会を開催（第24回） 12/14果樹産地化計画の策定に向けたヒアリング 12/20食品衛生管理講習会の開催 12/21露地野菜先進地視察研修 12/26畑地帯総合整備協議会意見交換会 12/27経営会議			
	1月	①～④農業生産体制の整備に向けた協議・打合せを実施。 1/9.16.18畑地帯説明会他の開催 1/15ブルーベリー協議会の開催 1/16六次産業化に向けた管内情報交換会 1/16食品衛生管理講習会の実施 1/22町農業再生協議会幹事会の開催（米政策） 1/24・25果樹部会及び道の駅出荷者協議会合同の視察研修会			
	2月	①農地バンク登録及び農地貸付け等希望地の図化 ①②新規就農希望者に対するフォローアップを随時行なう。 ③認定農業者及び集落営農組織、農業法人等に対して、農地の利用集積面積の拡大支援を行なう。 ④畑地帯総合整備事業を推進し、施設園芸作物の規模拡大を図る。			
	3月	①～④農業生産体制の整備に向けた協議・打合せを実施 3/14里西地区畑地帯打合せ 3/20農業管理研修会・種苗メーカー新規作物説明会51名 32/20新規出荷者向け相談会の開催7名 3/26生産者協議会総会の開催57名 3/28小泉・本沼地区事業推進協議会の開催			

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点
第1四半期	①～③事業は適正に実施している。 ④未同意者が数名いる。	①～③今後も継続してフォローアップを行なっていく。 ④引き続き、地元と役員による未同意者の対応を行う。
第2四半期	①～③事業は適正に実施している。 新規就農者が新たに2名増えたことから営農を含めたフォローアップが必要である。 ④事業エリアの決定。集積に向け、農地中間管理事業補助金を活用するため地元説明会を開催した。	①～③新規就農者の確保とともに、就農者に対しては適切なフォローアップを行なっていく。 ④事業採択に向け、益子町土地改良区編入手続き、事業計画書の作成を行う。地元負担金を軽減するため、集積を進める。なお、引き続き未同意者への対応を行う。
第3四半期	①農地利用意向調査の実施。 ②③事業は適正に実施している。 新規就農者に対するフォローアップが引き続き必要である。	②③本年度の目標は達成しているが、新規就農者の育成支援、フォローアップを引き続き行なっていく。
第4四半期	①農地利用意向調査による一覧表の作成。 ②③新規就農者数、担い手集積率共に概ね目標値を達成する値となった。道の駅事業については概ね良好な管理運営がなされており、新規出荷者の確保に向けた取り組みがなされた。本年度の新規就農者については気候条件や経験不足などから十分な収量(収益)確保とならなかったことから次年度以降育成支援の強化を図る。集落営農に関する組織化・法人化については小泉本沼地区が新たに集落営農組織となり、里西地区についても平成30年度の法人化に向けて準備を進めている。 ④小泉・本沼地区は畑総事業の地権者の同意を得て、益子町土地改良区に編入し土地改良事業採択申請を行った。また、小泉・本沼地区集落営農組織を設立し、農地中間管理事業を活用し集積を図った。(小泉地区集積率63.5%、本沼地区集積率52.2%)	①農地利用マッチングの実施。 ②③新規就農者に関しては、収量・収益の確保を図るため、農業士から組織する支援体制により支援強化を図っていく。担い手集積率は農地中間管理機構の農地集積をさらに促進するなど集積率の向上に向けて関係機関や地域との連携強化を図っていくものとする。また、畑地帯総合整備事業に関しては事業化に向けた営農計画(作付品目等の選定)作業に着手する。 ④小泉・本沼地区は、集落営農組織を中心に集積率を上げる。里西地区については、畑総事業の推進のため早期の推進協議会を設立する。また、集落の営農の法人化を目指し集積を図る。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言	
	第2四半期	①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	①実施計画のとおり事業を継続する。
総括（下半期も含む）		委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 果樹栽培農業者の後継者育成について、移住希望者等には有効な手段であると考え。正式就農前に技術を習得できることが魅力だが、正式継承までの年数・収入の目安等を明確にしておくなど、就農者側の不安点を解消するよう事業設計をされたい。	外部評価委員の意見を踏まえ計画のとおり事業を継続する。

基本目標		課局名	農政課		
施策		政策	成長産業としての農業の確立		
KPI		進捗状況	100%		
KPI		本年度目標値	53万人	現状値	65.2万人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
①年間計画（スケジュール・工程）			②実施内容・実績・成果		
主な取組内容	4月	①～⑤道の駅の指定管理者と業務仕様書に基づき管理運営協定を締結し、施設運営者が道の駅で行う事業を支援する。生産振興とブランド化、商品確保に向けた計画検討を行なう。	①～⑤施設運営の指定管理者であるましこカンパニーと管理運営協定を締結した。 4/13、4/25ブルーベリー協議会打合せ 4/28道の駅経営会議 4/29～益子春の陶器市		
	5月		①～⑤春の陶器市の開催（4/29～5/7）来場推計71,091人 月次来場（4月末時点）58,603人 5/18ブルーベリー協議会生産部会打合せ 5/22真岡北陵高校との連携打合せ 5/29カンパニー総会、経営会議		
	6月		①～⑤月次来場（5月末時点）89,886人（OP累計486,589人） 販路拡大に向けた打合せ（ブルーベリー協議会） 6/26カンパニー経営会議		
	7月		①～⑤月次来場（6月末時点）43,816人（OP累計530,405人） 販路拡大に向けた事業の実施（ブルーベリー協議会） 7/13生産者協議会役員会、7/28カンパニー経営会議		
	8月		①～⑤施設運営者が道の駅で行う事業を支援する。生産振興とブランド化、商品確保に向けた検討を継続し、事業化を図る。 月次来場（7月末時点）41,794人（OP累計572,199人） 8/11～20お盆・ひまわりフェア開催 8/17生産者協議会役員会の開催 8/24カンパニー取締役会 通販・ギフトの販売実績（7月末時点）87件		
	9月		①～⑤月次来場（8月末時点）61,544人（OP累計633,743人） 9/16～24お彼岸フェア 町外催事出店に関する打合せ （随時）取材対応 ギフトカタログの実績（8月末時点）193件 9/30ましこ町民大学において講義		
	10月		①～⑤10/1前土祭（田野地区） 10/7～14一周年フェア、10/8新米祭、10/15一周年イベント・果樹祭 10/15キッチンカーの導入 10/24カンパニー経営会議 10/24道の駅出荷者の感謝の集い メディア掲載、SNS活用、チラシ等の配布（随時） 次期ギフトカタログの製作に着手 視察の受入れ4件		
	11月		①～⑤11/2～6秋の陶器市開催 11/18益子町民祭の開催 11/22、23都内での道の駅商品の展示販売 11/23都内での道の駅農産物を活用した飲食提供 ギフト・通販実績（10月末：250件） 11/24果樹産地化計画の策定に向けた打合せ会 11/25、26新そば祭りの開催 11/28カンパニー経営会議・取締役会		
	12月		①～⑤施設運営者が道の駅で行う事業に対する支援を行った。 12/16～17都内での物販 12/20食と農インバウンド推進検討会の開催 12/23～25年末感謝祭		
	1月		①～⑤施設運営者が道の駅で行う事業に対する支援を行った。 1/2・3年始初売りの実施、1/6・7汁物市の開催 1/16食と農インバウンド推進検討会の開催 1/25足利銀行食の商談会への参加		
	2月		①～⑤施設運営者が道の駅で行う事業に対する支援を行った。 2/13道の駅生産者協議会主催研修の実施。 2/24・25いちごフェアの開催 2/26道の駅取締役会にて次年度事業計画の協議 2/27・28浦和駅催事販売の実施		
	3月		①～⑤施設運営者が道の駅で行う事業に対する支援を行った。 3/19インバウンド検討会 3/20農業管理研修会・種苗メーカー新規作物説明会 3/20新規出荷者向け相談会の開催 3/21春旬祭、お彼岸フェアの開催 3/21～3/26町外催事（インターパーク） 3/26生産者協議会の開催57名		

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	来場数も50万人を突破し、入込人数・売上高共に順調に推移している。	より顧客ニーズに応じた品揃え・商品確保を図るよう指導する。 これから閑散期に入り、かつ端境期を迎えることから、より集客効果の高い事業（企画）を展開する必要がある。
第2四半期	指定管理者が、業務仕様にに基づき適正に業務を行なっている。 来場数は60万人を突破し、入込人数・売上高共に順調に推移。 平日・休日比が大きく、品揃えの充実が課題である。	顧客ニーズに応じた品揃え・商品確保を図るよう引き続き指導を行なう。 繁忙期における品揃えの充実を図るため、計画的な生産・出荷が図れるよう指導する。
第3四半期	指定管理者が、業務仕様にに基づき適正に業務を行なっている。 来場数は順調に推移。天候不順による葉物野菜の品揃えやが課題である。 全体売上高のうち、飲食部門についてはやや減少傾向にあるので対策が必要である。	これから施設閑散期を迎えることから、顧客確保に向けた品揃えの充実、品質の確保を図っていく。 飲食部門は安定的な売上高を確保するため、商品の提供方法やメニュー構成等について指導を行なう。
第4四半期	道の駅の管理運営に関しては、指定管理者が業務仕様にに基づく業務を適正に行ない、来場数・売上高ともに目標（計画）を大幅に上回ることができた。 また、道の駅を拠点として生産者の育成・指導を行なうなど生産体制を整備するとともに、新商品の開発や町内産品のインターネット販売を行なうなど、販売体制の整備に着手した。 学校給食での地産農作物の使用や町内小中学校の卒業生に対して、JAではいちご、道の駅では自社プリンを提供するなど地元農産物の利用促進を図った。 海外に向けた販路開拓では、町内いちごのタイへの輸出（1件）があったものの、管内連携によるはが野ブランド化には至っていない。	道の駅に関しては平成30年度で第四期を迎えることから管理運営業務の長期契約化を見据えた事業体制の構築を図っていく。 具体的には、事業体制の安定化、運営面における質の向上、部門間の横断連携の3項目を掲げ、施設運営者による確実な実行、町はそのサポート、体制作りの支援を行なう。 販路の拡大に関しては、施設外での積極的なPR・販売を進めるとともに、町外や海外に向けた新たな販路を開拓するよう支援する。 ブランド化を含めた地産・生産振興については、道の駅や管内組織、JA等と連携し、生産力の向上と振興を図る。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	①実施計画のとおり事業を継続する。 ②堆肥を使用した農産物のブランド認定については、今後検討する。
	第2四半期	②意見・提言 ブランド認証制度について、町内の生ごみから作られた堆肥を使用した農産物をブランド商品として認定するなども検討されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	外部評価委員の意見を踏まえ計画のとおり事業を継続する。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 ブランド認証制度について、栃木県等の先行事例をよく研究され、制度設計をされたい。	

		課局名	観光商工課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	成長産業としての農業の確立		
施策	地域農産物の販路開拓	進捗状況	100%		
KPI	道の駅来場者数	本年度目標値	53万人	現状値	65.2万人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主 な 取 組 内 容	4月			②「益子木綿の工房」開催内容について打合せ。4/11。 ②「益子木綿の工房」募集開始（メディアへ情報提供）。 ②「益子の水藍物語」開催内容について打合せ。4/13。 ②「食と農の体験物語」開催内容について打合せ。4/19。	
	5月	②農業体験と連携したプログラムづくりの検討・情報発信・事業実施		②「益子木綿の工房」開催（第1回）5/21。参加者17名。 ②「益子の水藍物語」開催内容について打合せ。5/16。	
	6月			②「益子木綿の工房」開催（第2回）6/18。参加者13名。 ②「益子の水藍物語」募集開始（メディアへ情報提供）。	
	7月			②「益子の水藍物語」開催（第1回）7/9。参加者16名。 ②「益子木綿の工房」開催（第3回）7/16。参加者8名。 ②「里山ガールズ」開催内容について打合せ。7/20。	
	8月	②農業体験と連携したプログラムづくりの検討・情報発信・事業実施		②「ましこのドレッシング」募集開始（メディアへ情報提供） ②「ましこのドレッシング」開催（第1回）8/19。参加者10名。 ②「益子木綿の工房」開催（第4回）8/20。参加者7名。 ②「里山ガールズ」開催内容について打合せ。8/21。 ②「益子の水藍物語」開催（第2回）8/27。参加者20名。 ②「里山ガールズ」募集開始（メディアへ情報提供）	
	9月			②「ましこのドレッシング」開催（第2回）9/23。参加者10名。 ②「益子木綿の工房」開催（第5回）9/17。参加者6名。	
	10月			②「益子木綿の工房」開催（第6回）10/22。参加者12名。 ②「里山ガールズ」開催（第1回）10/7。参加者9名。 ②「ましこのドレッシング」開催（第3回）10/9。参加者10名。	
	11月	②農業体験と連携したプログラムづくりの情報発信・事業実施		②「益子の水藍物語」開催（第3回）11/11。参加者9名。 ②「益子木綿の工房」開催（第7回）11/19。参加者13名。 ②「里山ガールズ」開催（第2回）11/25。参加者7名。	
	12月			②「益子木綿の工房」開催（第8回）12/17。参加者12名。	
	1月				
	2月	②農業体験と連携したプログラムづくりの情報発信・事業実施・事業報告会			
	3月			②「里山ガールズ」開催（第3回）3/17。参加者9名。 ②「ましこのドレッシング」開催（第4回）3/25。参加者11名 ②ラーニングパッケージ事業報告会実施 3/26。	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1 四半期	②ラーニングパッケージ2事業について、予定通りの進捗。今後も主催団体と連絡を密に意思疎通が必要。	②現在申請予定の1事業について協議中。適切な時期での受付・情報発信に努める。
第2 四半期	②ラーニングパッケージ3事業について、予定通りの進捗。今後も主催団体と連絡を密に意思疎通が必要。	②申請4事業について全て協議済。適切な時期での受付・情報発信に努め定員確保に努める。
第3 四半期	②ラーニングパッケージ4事業について、予定通りの進捗。今後も主催団体と連絡を密に意思疎通が必要。	②申請2事業が開催終了。残り2事業について適切な時期での受付・情報発信に図り定員確保に努める。
第4 四半期	②今年度開催した4つの体験型ツーリズムについては計画通り実施され、事業報告会を開催した。 アンケートの結果より、88%が満足と回答。学習意欲も高い。	②木綿の工房は継続事業で3年間終了。 ラーニングパッケージ事業については、新規開催予定団体向けの募集及び説明会を検討。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	主催団体及び関係各課と連携し事業を推進する。
	第2四半期	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	
総括（下半期も含む）		第3四半期 委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし 総括（第4四半期も含む） ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	主催団体及び関係各課と連携し事業を推進する。

		課局名	観光商工課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり		
施策	商店の活性化と起業支援の充実	進捗状況	----- 100% -----		
KPI	起業支援補助金利用件数 (H26からの累計)	本年度目標値	11件	現状値	19件
KPI	空き店舗利用件数 (H26からの累計)	本年度目標値	3件	現状値	5件
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画 (スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月			①町HP、広報ましこお知らせ版へ募集記事掲載、金融機関へ制度周知依頼。(問合せ2件) 起業支援補助金審査会(4/25 2件) ②商工会へ起業家への指導依頼。(セミナー開催依頼) ②融資申込 4件 ④月3回、道の駅・役場ホールに求人情報紙を設置。	
	5月	①起業支援補助金制度の周知 ②商工会へ起業家への指導依頼、後継者育成セミナー内容検討、融資制度の周知 ③ポイントカード実施に関する検討 ④空き店舗の状況について、関係課との情報共有 ④求人情報・起業支援情報の収集・発信		②融資申込 5件 ②後継者育成セミナー内容検討。 ④月3回、道の駅・役場ホールに求人情報紙を設置するとともに、情報紙をPDF化し、町HPへ掲載。 ④起業支援に関するチラシをPDF化し、最新情報をHPへ掲載。	
	6月			①起業支援補助金問合せ 1件 ②融資申込 6件 ②益子焼人材確保・後継者育成セミナー(6/21 7名参加) ④月3回、道の駅・役場ホールに求人情報紙を設置するとともに、情報紙をPDF化し、町HPへ掲載。 ④起業支援に関するチラシをPDF化し、最新情報をHPへ掲載。	
	7月			①起業支援補助金問合せ 1件 ②融資申込 10件 ③商工会員によるカード事業検討委員会が開催された。 ④月3回、道の駅・役場ホールに求人情報紙を設置するとともに、情報紙をPDF化し、町HPへ掲載。 ④起業支援に関するチラシをPDF化し、最新情報をHPへ掲載。	
	8月	①起業支援補助金審査会の開催 ②後継者育成セミナー内容検討 ③ポイントカード実施に関する検討 ④空き店舗の状況について、関係課との情報共有 ④求人情報・起業支援情報の収集・発信		①起業支援補助金問合せ 2件 起業支援補助金審査会(8/28 1件) ②融資申込 7件 ②益子焼人材確保・後継者育成セミナー(8/18 8名参加) ②後継者セミナーについて、商工会・栃銀と協議。 ④月3回、道の駅・役場ホールに求人情報紙を設置するとともに、情報紙をPDF化し、町HPへ掲載。 ④起業支援に関するチラシをPDF化し、最新情報をHPへ掲載。	
	9月			①起業支援補助金問合せ 2件 ②融資申込 7件 ②益子焼人材確保・後継者育成セミナー(9/7、26 各8名参加) ④月3回、道の駅・役場ホールに求人情報紙を設置するとともに、情報紙をPDF化し、町HPへ掲載。 ④起業支援に関するチラシをPDF化し、最新情報をHPへ掲載。	
	10月			①起業支援補助金問合せ 1件 ②融資申込 2件 ②益子焼人材確保・後継者育成セミナー(10/7、21 各3名参加) ④月3回、道の駅・役場・中央公民館・改善センター・あぐり館に求人情報紙を設置するとともに、情報紙をPDF化し、町HPへ掲載。 ④起業支援に関するチラシをPDF化し、最新情報をHPへ掲載。	
	11月	①起業支援補助金審査会の開催 ②後継者育成セミナー準備 ③ポイントカード実施に関する検討 ④空き店舗の状況について、関係課との情報共有 ④求人情報・起業支援情報の収集・発信		①起業支援補助金問合せ 1件 ②融資申込 6件 ②益子焼人材確保・後継者育成セミナー(11/11、25 各3名参加) ④月4回、道の駅・役場・中央公民館・改善センター・あぐり館に求人情報紙を設置するとともに、情報紙をPDF化し、町HPへ掲載。 ④起業支援に関するチラシをPDF化し、最新情報をHPへ掲載。	
	12月			①起業支援補助金審査会(11/27 4件) ②融資申込 6件 ②事業承継セミナー(12/12 8社参加) ②益子焼人材確保・後継者育成セミナー(12/2、13、14、18、19 各3名参加) ④月4回、道の駅・役場・中央公民館・改善センター・あぐり館に求人情報紙を設置するとともに、情報紙をPDF化し、町HPへ掲載。④起業支援に関するチラシをPDF化し、最新情報をHPへ掲載。	
	1月			①起業支援補助金問合せ 3件 ②融資申込 10件 ②益子焼人材確保・後継者育成セミナー(1/11 5名) ④月4回、道の駅・役場・中央公民館・改善センター・あぐり館に求人情報紙を設置するとともに、情報紙をPDF化し、町HPへ掲載。④起業支援に関するチラシをPDF化し、最新情報をHPへ掲載。	
	2月	①起業支援補助金審査会の開催 ②後継者育成セミナーの開催 ③ポイントカード実施に関する検討 ④空き店舗の状況について、関係課との情報共有 ④求人情報・起業支援情報の収集・発信		②融資申込 2件 ④月4回、道の駅・役場・中央公民館・改善センター・あぐり館に求人情報紙を設置するとともに、情報紙をPDF化し、町HPへ掲載。④起業支援に関するチラシをPDF化し、最新情報をHPへ掲載。	
	3月			①起業支援補助金問合せ 3件 ①起業支援審査会(3/20 要綱改正) ②融資申込 10件 ②益子焼人材確保・後継者育成セミナー(3/6 5名参加) ④月4回、道の駅・役場・中央公民館・改善センター・あぐり館に求人情報紙を設置するとともに、情報紙をPDF化し、町HPへ掲載。④起業支援に関するチラシをPDF化し、最新情報をHPへ掲載。④空き店舗所有者に、空き店舗登録するよう連絡。	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	①起業支援補助金の制度の周知を金融機関へ行い、その後の事業計画書作成がスムーズになっている。 ②融資利率の引下げや運転資金の返済期間を2年延長したことにより、中小企業者が利用しやすくなった。利用促進のための広報が必要。 ③商工会からポイントカードについて、今後検討会を開催する旨の話があった。 ④求人情報、起業支援情報が関係機関からチラシで届いても、それを広く周知する方法がなかったが、PDF化し町HPに掲載することで、最新情報を周知することができた。	①④町内で起業したい方の中には、空き店舗利用希望者がおり、現在は、商工会から情報をいただいている。今後関係課との情報を共有していく。 ②融資制度PRについての検討。 ③後継者育成セミナー（事業者向け）については、受講者側の希望にそった内容となるよう商工会と協議していく。 ③新しいポイントカード導入に向けて検討をする。 ④求人情報紙の設置場所や町HP掲載を継続する。
第2四半期	①商工会と金融機関が連携して書類作成を指導しており、申請手続きがスムーズになっている。 ②融資申込み件数は昨年同時期と比べて8件増加しており、周知が出来ている。 ②栃木銀行から後継者育成セミナー開催協力の話があり、町・商工会・栃銀の3者共催とするが、講座内容、実施時期について検討が必要。 ③昨年度、検討が中断していたカード化について委員会が立ち上がり、検討が再開した。次回の委員会から、町も参加予定。 ④求人情報、起業支援情報をPDF化し、町HPに掲載しているが、閲覧数からみると、周知が不足している。	①④に関連する町に登録された空き店舗4件は、空き店舗を活用した創業支援対象（県事業）として県へも申請したので、登録された後は、関係機関と連携しながら情報を発信していく。 ②セミナー実施日が、講師の都合で決定できていないため、早急に決定し、実施に向けて準備を進める。 ③町として、どのようななかかわりかたができるか検討。 ④役場、道の駅に求人情報を置いているが、他の施設にも設置するとともに、町HPへの掲載およびハローワークインターネットサービスへのリンクについての周知。また、起業支援情報についても、HPに掲載していることを周知する。
	①商工会と金融機関が連携して書類作成を指導しており、申請手続きがスムーズになっている。 ②融資申込み件数は昨年同時期と比べて5件減少したが、融資金額は2千万円強増えており、運転資金枠を拡大した成果がでていると考えている。 ②事業承継セミナー（後継者育成セミナー）を開催することができ、現経営者や後継者も、将来について具体的に考える機会づくりができた。 ③カード化については、委員会の開催が中断しており、今後の開催について確認が必要。 ④求人情報掲載の記事を、町フェイスブックで周知したが、閲覧数が伸びていない。	①起業支援補助金受給者に対して充実した支援ができるような要綱の改正を検討。 ②融資については、率・期間・限度額等について検討する。 ③町として、どのようななかかわりかたができるか検討。 ④役場、道の駅に求人情報を置いているが、他の施設にも設置するとともに、町HPへの掲載およびハローワークインターネットサービスへのリンクについての周知。また、起業支援情報についても、HPに掲載していることを周知する。
第4四半期	①町・商工会・県・金融機関が連携を図り、経営・財務・人材育成・販路開拓の知識を身に付けた起業家をより支援するための起業支援補助金となるよう要綱を改正した。また、空き店舗を活用した起業家へ補助金の加算制度を設け支援を充実させた。 ①④新規空き店舗となった所有者に、県の創業支援対象店舗として登録するよう連絡し、より多くの補助等を受けられるようにした。 ②融資申込み件数は、昨年度と比較して12件増加する見込みである。	①町創業支援事業計画に沿った起業家を増やすよう、補助金支払い後も県や町商工会を通じて支援を継続していく。 ①④登録店舗を活用した起業支援について、町HP（空きやバンク）の利用検討。 ②融資については、率・期間・限度額等について検討。 ③町として、どのようななかかわりかたができるか検討。 ④人目につくための求人情報・起業支援制度等の情報発信方法の検討。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	各取組とも第2四半期の方針・改善点を踏まえ実施する。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	関係課や関係団体と連携を図り事業を推進する。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	農政課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり		
施策	ものづくりの育成・支援	進捗状況	100%		
KPI	ブランド商品認定数（累計）	本年度目標値	12件	現状値	0件
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			①益子町地域農産物開発事業について、受託者であるましこカンパニーに対し、交付決定を行った。 販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」において商品の提供・販売を行った。 ①新嘗祭関連打合せ及び視察	
	5月	①益子町新商品開発事業に着手し、実施主体が地域農産物を活用した商品を開発、商品の提供・販売を行う。 ①農産品について認証制度の確立に向けた準備を進める。		①販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」において商品の提供・販売を行った。 ①新嘗祭関連視察（水稲・粟） ①5/18ブルーベリー協議会生産者部会生産打合せ ①5/22真岡北陵高校との連携打合せ、5/27道の駅にて加工商品の試食・アンケートを実施。	
	6月			①販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」において商品の提供・販売を行った。 ブルーベリーブランド協議会打合せ 【道の駅】新商品・・・ピクルス（なす、カレー、山ぶどうピネガー）、サラダうどん、生ジュース（トマト・イチゴ）	
	7月			①7/1・2ブルーベリー祭 ブルーベリーに関する体験事業の実施（7月～11月） 7/20地域特産品の開発に向けた現地視察（那珂川町） ブランド認証の制度検討 7/4カタログギフト及び7/21オンラインショップの開設	
	8月	①農産品について認証制度の確立に向けた準備を継続する。 ①商品の安定供給に向けた支援を行なう。		【道の駅】手工芸雑貨の雑貨市・ワークショップの開催 道の駅の新商品（ももスムージー、ブルーベリーピクルス、ブルーベリーシロップ漬）を販売開始。 8/6地元果実の出荷体験の開催 8/19七井中戦場見学 8/19ラーニングパケーションの開催（10名） 8/21北陵高校インターンシップ	
	9月			①販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」において商品の提供・販売を行った。 ①お盆セールの開催 ①指定管理者主催事業の実施 9/16ブルーベリージャムづくり体験7名 9/23りんご収穫とランチプレートづくり体験9名 9/28旅業の取得についての協議・検討	
	10月			①販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」において商品の提供・販売を行った。 道の駅一周年事業の実施（町内店舗の出店） 10/7ラーニングパケーション「里山ガールズ」の開催	
	11月	①農産品について認証制度の確立に向けた準備を継続する。 ①商品の安定供給に向けた支援とともに、販路開拓についての検討を行なう。		ブランド認証について農業分野の実施に向け具体的な検討を開始。 11/3-5光る泥団子WS 11/18ブルーベリー協議会主催事業（剪定作業、スコーンづくり）の開催 11/25、26新そば祭りの開催 ラーニングパケーション「里山ガールズ」の開催	
	12月			①販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」において商品の提供・販売を行った。 【道の駅新商品】 友愛作業所のさつまいもを使用したイモフライ（キッチンカー） とちおとめを使用した季節のパフェ（レストラン） 規格外野菜を使用した乾燥野菜の販売（加工） ブランド認証について農業（食品）分野の実施に向けた具体的な検討を行なった。	
	1月			①販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」において商品の提供・販売を行った。 また、今後の地場産品を活用した商品開発について実施者と協議を行なった。 道の駅オリジナル商品として、寒たまごころたまぶりんの販売。 29年度現時点での商品開発数は25品目となっている。	
	2月	①農産品について認証制度の確立に向けた準備を継続する。 ①商品の安定供給に向けた支援とともに、販路開拓に向けた取り組みを行なう。		①販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」において商品の提供・販売を行った。 2/8道の駅生け花ワークショップの開催 2/13道の駅出荷者を対象とした現地視察（茨城県・千葉県）を行なった。 2/19商品開発事業に向けた現地視察（群馬県上野村）を行なった。 2/26道の駅取締役会において次年度事業計画の協議	
	3月			①現在、食品部門の認証制度の確立に向けて、認証委員会の設置準備、認証委員の選定までを行った。 ①商品の安定供給に向けて農業管理研修会、種苗メーカー新規作物説明会、新規出荷者向け相談会を開催するなどの取り組みを行なった。 3/3ブルーベリーの苗植体験4名 3/4ひな飾りWS4名、3/8生け花WS 3/17里山ガールズWS7名	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点
第1四半期	ブランドに関しては、地域振興拠点施設に加工部門が新設され、指定管理者が業務仕様に基づき商品開発等を行なっている。 また、ブルーベリーに関しては組織化を図り、規格・品質の統一化を図るなどした。 空き店や求人、起業支援情報については担当課において実施。	ブランド認証制度の構築に向けて、準備組織の設置に向けた具体的な検討を進めていく。
第2四半期	加工施設の運営管理は指定管理者が適正に行なっている。 道の駅の自主企画に関しては募集定員が少なく、集客力には結びついていない。 新商品に関しては、季節素材を活用した商品づくり(ピクルス等)を実施。 来訪者には土産品として町の顔が見える商品を求められている。 担当部署においてブランド制度に関する準備を開始。 空き店や求人、起業支援情報については担当課において実施。	道の駅の自主企画については、企画内容を見直し、定数増員や集客力向上につなげるなどの改善が必要である。 町の顔となる商品づくりが必要と考えられることから、関係機関及び生産者等と具体的な検討を進めていく。 ブランドに関しては、農業分野が先行して準備を進めていく。
第3四半期	加工施設の運営管理は指定管理者が適正に行なっている。 新商品に関しても、地元素材を活用した商品づくりが行なわれている。 ブランド認証制度に関しては、農業分野に係る制度設計に着手し、年度内の運用に向けた準備が行なわれている。 空き店や求人、起業支援情報については担当課において実施。	商品づくりに関しては継続的かつ安定的な生産体制が図れるよう引き続き管理指導を行う。 ブランド認証制度が公平かつ適正に運用できるよう運用基準の作成と認証委員の選定を行なっていく。
第4四半期	ものづくりに関しては、道の駅の加工施設を核として地元素材を活用した新商品やオリジナル商品を開発したことにより、道の駅での入込数・売上高の実績に大きく貢献することができた。 一方で、地域特産品の認定に関しては、地域特産品認証委員会の設置要領を整備し、委員の選定までは行なうことができたが、委員会の開催までには至らず、結果、ブランド商品の認定を行なうことができなかった。	顧客の購買動向から、地元素材を活用した商品に関しては常に売上げが上位・良好であり、購買力が強いことから、安定供給に向けた生産性の拡大・安定のための新商品の試作・検討や製造ライン増強などの検討を開始する。 ブランド商品の認定に関しては、商品の募集、認証委員会の開催・選定、認証手続き、告知PRまでを年2回程度行なえるよう確実な準備・実施を行なうとともに、販売出口戦略となる商品の販路拡大に対する支援を行なっていく。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	①実施計画のとおり事業を継続する。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	実施計画のとおり事業を継続する。
	第4四半期も含む		

課局名		観光商工課			
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり		
施策	ものづくりの育成・支援	進捗状況	50%		
KPI	ブランド商品認定数（累計）	本年度目標値	12件	現状値	0件
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月	④かさましこ品川駅観光キャンペーン。4/13、4/14実施。			
	5月	②手仕事人材バンク設置の準備 ④かさましこ観光協議会において、連携事業の実施			
	6月	②作家や工芸品の情報提供について、道の駅へ依頼。 ④かさましこ観光協議会幹事会。6/15、同総会。6/30。			
	7月	②手仕事人材バンク対象者について、道の駅出品者情報を収集した。			
	8月	①ブランド認定制度の検討 ②手仕事人材バンク設置の準備 ③インキュベーションセンター設置の検討 ④かさましこ観光協議会において、連携事業の実施。			
	9月	②益子さんぽ市出店者情報収集。9/17 ④かさましこ観光協議会幹事会。9/12。			
	10月	④かさましこ観光協議会連携事業笠間浪漫参加 10/7。			
	11月	①ブランド認定制度の検討 ②手仕事人材バンク設置の準備 ③インキュベーションセンター設置の検討 ④かさましこ観光協議会において、連携事業の実施。			
	12月	③インキュベーションを充実させるための要綱の検討。			
	1月	②手仕事人材バンクについて、道の駅の担当者と情報交換。 ③インキュベーションを充実させるための要綱の検討。			
	2月	①ブランド認定制度の検討 ②手仕事人材バンク設置 ③インキュベーションセンター設置の検討 ④かさましこ観光協議会において、連携事業の実施。			
	3月	③インキュベーションを充実させるための起業支援補助金交付要綱の改正を行なった。			

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	②対象者の抽出ができなかったため、情報の収集が必要。 ④かさましこ協議会として観光キャンペーンの実施。物販も同時進行で行い盛況であった。駅構内でのキャンペーンは効果大である。	②具体的対象者を調べ出し、人材バンク登録に向けた準備を進める。 ④協議会として、適切な時期・場所においてのPR促進事業の検討。
	②対象者の情報を集めているが、数が少ない。 ③地域おこし協力隊が希望するものが、インキュベーションセンターとは異なる内容であったため、参考意見とした。本町に合ったインキュベーションセンター設置について検討する必要がある。 ④かさましこ協議会としてPR促進観光キャンペーンの実施内容や実施時期等の検討。観光キャンペーン以外のPR事業の検討。	②対象者情報の収集方法と情報発信方法の検討。 ③本町に合ったインキュベーションセンターについて検討。 ④協議会として、適切な時期・場所においてのPR促進事業の実施に向け検討。
第3四半期	①認定制度については、農政課において農業分野での制度設計がされており、年度内の運用に向けた準備がされている。 ②手仕事人材バンクのスケジュールを作成する必要がある。 ③インキュベーション機能を充実させる必要があるため、起業支援補助金の交付要綱改正の検討が必要。 ④かさましこの連携事業により両市町でのPR活動により効果的な情報発信ができた。	①認定制度の運用について、関係課と連携し認定を進めていく。 ②手仕事人材バンクのスケジュール案を検討する。 ③起業支援補助金の交付要綱の改正をする。 ④かさましこの連携事業による両市町の効果的なPR活動の検討。
第4四半期	①認定制度については、農政課において実施に向けた準備が進められている。 ②手仕事人材バンクについて道の駅の担当者と情報交換したが、スケジュール案を検討するまでに至らなかった。 ③町・商工会・県・金融機関が連携を図り、経営・財務・人材育成・販路開拓の知識を身に付けた起業家をより支援するとともに、事業所を賃貸して開業した方に補助金を交付するため、起業支援補助金交付要綱の改正をした。 ④かさましこウェブサイトの多言語化(英語・中国語繁体字)更新ができた。 ④かさましこの日本語版観光マップの作成。 20,000部制作し、広域連携及び営業地として両市町のPRができた。	①認定制度の運用について、関係課と連携し認定を進めていく。 ②手仕事人材バンクのスケジュール案を検討する。 ③起業支援補助金の制度のPRと、町創業支援計画に沿った支援の実施。 ④かさましこの連携事業による両市町の効果的なPR活動の検討。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての 次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	関係団体及び関係各課と連携し、事業の推進を図る。
	第2 四半期		
総括（下半期も含む）	第3 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	関係団体及び関係各課と連携し、事業の推進を図る。
	総括（第4 四半期も含む）		

		課局名	農政課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり		
施策	世界一が集う焼きものの町づくり	進捗状況	100%		
KPI	益子焼総販売額	本年度目標値	38億円(H31)	現状値	29.2億円(H28)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			③地域振興拠点施設企画展示事業について、受託者であるましこカンパニーに対し、交付決定を行なった。 ③今期第一回目となる企画展示「土は語る～現在編」の展示を開始した。	
	5月	③地域振興拠点施設企画展示事業に着手する。 ③受託者が、今期第一回目となる企画展示「土は語る～現在編」の展示を開始する。		③今期第一回目となる企画展示「土は語る～現在編」の展示。 ③企画管理者との当該年度企画展示事業（後期）の事前打合せ。 ③5/23企画運営者との展示打合せ。	
	6月			③今期第一回目となる企画展示「土は語る～未来編」の展示。	
	7月			③企画展示「土は語る～未来編」を継続して展示。（会期～7/31）	
	8月	③二回目となる企画展示「土は語る～未来編」の展示を開始する。 ③以降の企画展示について準備を進める。		③自主企画「いわむらかずおと絵本のある暮らし」8/5-9/24の開催	
	9月			③自主企画「いわむらかずおと絵本のある暮らし」8/5-9/24の開催 時期企画に向けた準備を行なった。 9/30から益子の生活道具展開催	
	10月			③一周年記念企画展「益子の生活道具展」の開催 関係事業として、前土祭を開催2,800人の来場（田野地区）	
	11月	③受託者が、益子の暮らしに関する企画展示（第三回目）を行なう。		③一周年記念企画展「益子の生活道具展」の開催 企画展関連WS（竹細工）の実施	
	12月			③一周年記念企画展「益子の生活道具展」の開催 企画展関連WS（竹細工）の実施 12/3関係事業としてボタリングましこを開催	
	1月			③企画展「濱田庄司登り窯復活プロジェクト」の展示開始。 現年度の開催実績及び次期企画内容について、実施者との協議を行なった。	
	2月	③受託者が、益子の暮らしに関する企画展示（第四回目）を行なう。		③企画展「濱田庄司登り窯復活プロジェクト」の展示。 2/4.5企画展の連動企画として登り窯プロジェクトツアーの開催。 2/17.18濱田庄司登り窯復活プロジェクトの実施。 2/24～登り窯連動企画の実施。	
	3月			③企画展「濱田庄司登り窯復活プロジェクト」（登り窯連動企画）の展示。 次期企画展示についての内容検討	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	展示のほか、実演を交えるなど視覚的にも効果的な展示が行なわれた。 次期展示に関して、実施者から具体的な展示企画の内容が示されていない。	次期展示に向けた協議・調整を行うとともに、実施者に対する指導の徹底を図る。
第2四半期	第2回目以降、指定管理者主導での企画展示が実施された。 企画展示に関しては効果の検証を行なう必要がある。	実施者と次期展示に向けた協議・調整を行う。 効果検証の実施に向けた調整を行う。
第3四半期	第2回目以降、指定管理者主導での企画展示が実施されているが、十分な場の活用がなされていない。 企画展示に関しては、ニーズの把握とともに効果の検証を行なう必要がある。	実施者と次年度の事業内容について協議を行う。 展示スペースに関して、ホールの活用方法や展示高、展示頻度についての協議・調整を行う。
第4四半期	町が指定する企画数には達成したものの、受託者が年間計画に掲げた企画本数には達成しなかった。 特に下期に関しては予定数の半分の実施であり、企画力とその実行について十分な協議・調整を行っていく必要がある。	企画展示事業にあたり、受託（運営）者が事業の実施に必要な人材・時間を確保するとともに、確実可能な事業計画を立案するよう指導管理に努める。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	①実施計画のとおり事業を継続する。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	実施計画のとおり事業を継続する。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	観光商工課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり		
施策	世界一が集う焼きものの町づくり	進捗状況	100%		
KPI	益子焼総販売額	本年度目標値	38億円(H31)	現状値	29.2億円(H28)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主 な 取 組 内 容	4月			③道の駅担当課で実施。「土は語る 現代編」 ④4/19～4/23迄 リンダ・ブラント氏 益子滞在、 リンダ・ブラント展 本人によるギャラリートークの実施。（33人・1回） ⑥益子芳星高校へ予算について説明。	
	5月	①深澤デザインと新商品開発事業についての協議、販路開拓方法の検討 ②益子焼を使おう条例案の作成 ③道の駅を拠点に、益子焼などの工芸品を暮らしの空間に取り入れられるよう推進 ④益子国際工芸交流館を拠点に、世界中から焼きものを学びに来る仕組みづくりの構築 ⑤窯業技術支援センターでの人材育成支援 ⑥益子芳星高校で行なわれている益子焼の授業の充実に協力		①新商品開発検討会議及び販路開拓会議。5/25 ③道の駅担当課で実施。「土は語る 現代編」 ④3/4～5/2迄 公募作家 アン・バ・ヨウ・ワイド氏滞在、 3/25～5/2迄 公募作家 カリナ・スカーツ氏滞在。 公募作家2人によるワークショップ、講演会等の実施。（211人・7回） ⑤後継者育成セミナーについての協議。 5/16, 22 ⑥益子芳星高校との協力内容についての情報交換。 5/30	
	6月			①新商品開発検討会議及び販路開拓会議。6/29 ①新商品の英国、東京での発表会・展示会の検討。 ②益子焼を使おう条例案作成、部課長へ提示。 6/27 ③道の駅担当課で実施。「土は語る 未来編」 ③益子焼人材確保・後継者育成セミナー（6/21 7名参加）	
	7月			②益子焼を使おう条例案を益子焼関係団体へ意見聴取7/6 ② “ ” を部課長へ提示7/14 ③道の駅担当課で実施「土は語る 未来編」 ④成果展リンダ・ブラント展の開催 4/23～7/2 ⑥益子芳星高校の陶芸授業に対する経費支援	
	8月	①深澤デザインと新商品開発事業について商品化および販路開拓方法の検討 ②益子焼を使おう条例の制定 ③道の駅を拠点に、益子焼などの工芸品を暮らしの空間に取り入れられるよう推進 ④益子国際工芸交流館を拠点に、世界中から焼きものを学びに来る仕組みづくりの構築 ⑤窯業技術支援センターでの人材育成支援 ⑥益子芳星高校で行なわれている益子焼の授業の充実に協力		②益子焼を使おう条例案を益子焼関係団体へ意見聴取8/3 ② “ ” を庁議へ提示8/10 ② “ ” を全員協議会へ提示8/30 ④海外実務研修（チンマーク）6/26～8/14 ⑤益子焼人材確保・後継者育成セミナー（8/18 8名）	
	9月			②益子焼を使おう条例制定 9/8 ②ポスター、チラシ、PR物資打合せ 9/11 ②条例推進のための取組を城内坂通り会へ依頼9/12 20名出席 ②魅力発信のためのインスタグラム開始 9/17 ③道の駅担当課で実施 ④公募プログラム2018の募集（8/1～9/17・応募者18名）、アーティスト・イン・レジデンス研究会参加（滋賀県立陶芸の森 9/9） ⑤益子焼人材確保・後継者育成セミナー（9/7、26 各8名）	
	10月			②益子焼を使おう条例ポスター、チラシ配付 ②条例推進のためのPR物資配布10/15 ③道の駅担当課実施 ④公募プログラム2018の応募者選考 10/12（2名） 10/22～10/26迄 佐々木スミ子先生 滞在 ⑤益子焼人材確保・後継者育成セミナー（10/7, 21 各3名）	
	11月	①深澤デザインと新商品開発事業について販路開拓及びPR活動 ②益子焼を使おう条例の推進 ③道の駅を拠点に、益子焼などの工芸品を暮らしの空間に取り入れられるよう推進 ④益子国際工芸交流館を拠点に、世界中から焼きものを学びに来る仕組みづくりの構築 ⑤窯業技術支援センターでの人材育成支援 ⑥益子芳星高校で行なわれている益子焼の授業の充実に協力		①海外向け商品開発研究会開催（県主催）11/28 5社 ①新商品開発・販路開拓会議。11/9。 ②益子焼を使おう条例ポスター、チラシ配付 ②条例推進のためのPR物資配布11/2, 5, 18 ②条例制定PRのため栃木県東京事務所訪問 11/2 ④10/4～11/13迄 招聘作家 ヴォン・ベディンク氏滞在 招聘作家によるワークショップ、講演会等の実施（51人・4回） アーティスト・イン・レジデンス研究会in益子 11/11（21人）、アーティスト・イン・レジデンス研究会 11/12（60人）、成果展アトリエ・カサノ展の開催 9.2-11.18⑤益子焼人材確保・後継者育成セミナー（11/11, 25 各3名）	
	12月			①海外向け商品開発研究会開催（県主催）12/15 5社 ②益子焼を使おう条例ポスター、チラシ配付 ②条例推進のためのPR物資配布12/10 ④10/31～12/3迄 研究生 アメル・ハスコ氏滞在 研究生による講演会等の実施 11/23（1回） ⑤益子焼人材確保・後継者育成セミナー（12/2, 13, 14, 18, 19 各3名）	
	1月			①海外向け商品開発研究会バイヤー 2名来町（県主催）1/22 ①新商品発表会に向け、試作品のプレゼンテーション。1/31 ③道の駅担当課で実施「登り窯復活プロジェクト特別展前編」 ④アーティスト・イン・レジデンス研究会参加（瀬戸市新世紀芸術館 1/20） ⑤益子焼人材確保・後継者育成セミナー（1/11 5名）	
	2月	①深澤デザインと新商品開発事業について販路開拓及びPR活動 ②益子焼を使おう条例の推進 ③道の駅を拠点に、益子焼などの工芸品を暮らしの空間に取り入れられるよう推進 ④益子国際工芸交流館を拠点に、世界中から焼きものを学びに来る仕組みづくりの構築 ⑤窯業技術支援センターでの人材育成支援 ⑥益子芳星高校で行なわれている益子焼の授業の充実に協力		①デザイン・意匠権セミナーに参加。2/15 ②東京ドームにてテーブルウェアフェスティバルが開催され、益子焼が特集企画展示された。（2/4～2/12） ②益子大使・益子宣伝部長へ、益子焼をPRするための益子焼を贈った。 ③道の駅担当課で実施「登り窯復活プロジェクト特別展前編/後編」	
	3月			①海外向け商品開発研究会（内覧会）開催（県主催）3/23 ③道の駅担当課で実施「登り窯復活プロジェクト特別展後編」 ④成果展ヴォン・ベディンク展の開催 3/30～ ⑤益子焼人材確保・後継者育成セミナー（3/6 5名）、第49回窯業技術支援センター伝習生卒業作品展（3/13～3/18 益子陶芸美術館第3展	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	①意見交換により再度の試作が必要。 ②修正案等を整理し、条例案を精査することが必要。 ③道の駅担当課において実施中。 ④招聘・公募作家によるワークショップ、講演会等を開催し、町内外の陶芸及び工芸作家などとの交流プログラムの推進が図れた。 ⑤後継者育成セミナー実施のための交付金申請受付をすることができた。 ⑥高校が希望した予算措置ができた。	①商品化への最終チェック及び商品発表の場と受注受け皿の検討 ②条例案を関係団体に提示し、意見を取りまとめる。 ④招聘作家及び公募作家のプログラムの準備を行う。 公募プログラム2018の募集開始をする。(8月～) ⑤セミナーが予定どおり開催できるよう情報を共有しながら協力する。 ⑥高校が予定している事業がスムーズに実行できるよう協力する。
第2四半期	②9月8日に施行され、条例推進のための事業の検討。益子焼の使用風景のInstagram(SNS)は始めたばかりなので充実が必要。 ④招聘・公募作家との交流プログラムに向けた事前準備推進や、成果展の開催。また、海外実務研修及び国内の3つのAIR運営団体との交流を実施することができた。 ⑤当初予定していた後継者セミナーを、1名増で実施することができた。 ⑥高校が希望した経費の支援ができた。	②関係する団体と協力し、推進事業の検討、実施。Instagramの周知を検討。 ④2017秋招聘作家のプログラムの実施、遂行を図る。公募プログラム2018の応募者選考を行う。 ⑤セミナーが予定どおり開催できるよう情報を共有しながら協力していく。 ⑥指導者に対する経費は県費負担されているため、それ以外の部分に対する継続的な支援の検討。
	①深澤デザインで新商品発表会の場所及び日時について検討。案として無印商品系列のIDEEで調整。 ①海外向け商品開発のための研究会ができたので、計画どおり実施できるよう協力していく。 ②飲食店に使用を促すため、飲食店を中心にポスター・チラシを配布したが、益子焼の強度や重さ等の理由により、使いづらい等の意見があった。 ②Instagram開始後、フォロワーが150人を超えたが、さらにフォロワー数を増やし魅力を発信するための工夫が必要である。 ④公募プログラム2018の応募者選考を行い2名を決定。招聘作家によるワークショップ、講演会等を開催し、町内外の陶芸及び工芸作家などとの交流プログラムの推進を図り、美術館において成果展の開催。また、国内の3つのAIR運営団体との交流を益子で実施することができた。	①深澤デザインと新商品発表会の開催に向け調整を図る。 ①3月に試作品を完成させ、内覧会を開催する予定をしているため、計画どおり進めるよう協力していく。 ②SNS等で益子焼の魅力を配信してもらうような事業の検討をする。 ④国内の3つのAIR運営団体との交流を進め、事業等の共有情報収集に努める。成果展の開催準備や事業広報等の周知検討をする。 ⑤セミナーが予定どおり開催できるよう情報を共有しながら協力していく。 ⑥指導者に対する経費は県費負担されているため、それ以外の部分に対する継続的な支援の検討。
第4四半期	①イギリスからバイヤーが来町し、研究会と1事業所で話し合いをもつことができた。また、研究会員が試作した品は、講師から概ね好評を得た。 ①発表会に向けての事前調整が進んだ。 ②Instagram開始後、フォロワーが195人になり、順調に伸びている。 ②益子焼を使う条例のチラシを約11,500枚、ポスターを約200枚配布することができた。また、条例推進のためのPR物資を約770個配布することができた。ポスターについては、町内業関係者、飲食店等を訪問しながら配布し条例趣旨の理解を図った。 ③道の駅において、担当課と連携し企画展が実施でき、効果的な推進となった。 ④国内の3つのAIR運営団体との交流を実施。成果展や公募招聘作家プログラムに向けた事前準備を進めることができた。	①台湾販路開拓のための準備を進める。 ①発表会に向けての商品の製作や、契約を進める。 ②SNSフォトコンテストの実施に向けた検討。(7月～広報、12月審査会の予定) ②条例推進のための事業の検討。(PR商品の発注、配布、ポスター製作等) ③関係課と連携を図り、道の駅での展示を推進する。 ④公募作家及び招聘作家の2018プログラムの事業推進を図る。 ⑤セミナーが予定どおり開催できるよう窯業支援センターと情報を共有しながら協力していく。 ⑥指導者に対する経費は県費負担されているため、それ以外(消耗品等)の部分に対する継続的な支援。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての 次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	新商品開発・トップセールス事業による今後の販路開拓事業について、生産・販売体制を関係団体等と連携し検討を図る。 国際工芸交流事業では、益子陶芸美術館/陶芸メッセ・益子のSNS（フェイスブック、ツイッター）を活用し、活動報告や施設紹介などを行い、現在は、海外向けに英語の文章での紹介も少しずつではあるが、発信を進め始めている。 招聘・公募作家自身のSNSでの発信については、発信している作家もいた。（任意としている。） 外国人誘客につなげる活動については、今後の広報のやり方など検討を図る。
	第2四半期	②意見・提言 ロンドン・台湾への販路開拓事業について、PDCAを回す意味からも各年度によってその効果検証を行っていくべきである。 益子焼総販売額38億円を目指すのであれば、どのように生産・販売体制を確保していけば達成できるのかを検討すべきである。 国際工芸交流事業について、ただ海外作家を招へいし町内での交流事業を実施するだけではなく、「外国人観光客の誘客」の施策との関係性を考え、招へい作家に自身のSNSでの発信、投稿交流サイトへの記事掲載等を採用条件にするなど、本事業の世界的な拡散から外国人誘客につなげることを検討すべきである。	
総括（下半期も含む）		第3四半期 委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 KPIである「益子焼総販売額」について、KPIが毎年更新されないことから適切な検証を毎年行うことができない。毎年検証できるKPIの設定が望ましい。	第4四半期 KPI指標については、代わりとなる指標がないので現状のままと考える。 具体的行動により、KPI（31年度評価指標数値）達成に向けた取組みを推進する。

		課局名	環境課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり		
施策	就労支援と雇用創出	進捗状況	100%		
KPI	有効求人倍率	本年度目標値	0.7	現状値	0.74 (1~12月)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主 な 取 組 内 容	4月	④松本入町有林整備（竹林除去）に向けて現地確認等		未実施	
	5月			④松本入町有林現地踏査	
	6月			④松本入町有林整備に向けたみどり推進機構との連絡調整	
	7月	④松本入町有林整備のための見積書の徴集		④シルバー人材センターと松本入町有林現地踏査	
	8月			④竹伐採に向けたスケジュールの作成	
	9月			④シルバー人材センター職員及び作業員による現場確認	
	10月	④松本入町有林整備作業		④侵入竹林までの作業道の整備	
	11月			④侵入竹林までの作業道の整備	
	12月			④シルバー人材センター職員及び作業員による現場確認	
	1月	④松本入町有林整備作業		④シルバー人材センター職員及び作業員による現場確認	
	2月			④シルバー人材センターによる整備作業実施	
	3月			④シルバー人材センターによる整備作業実施	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	④松本入町有林（竹林）の整備にあたっては、機械等は「みどり推進機構」より貸与協議している状況である。シルバー人材センターへ効率的な業務委託ができるよう努めていく必要がある。	④竹林の整備はシルバー人材センターへ委託することになると思われる。効率的業務を実施するためには、稼働力のある竹チップパー等機器等を貸与し作業することにより委託額が安価にすることができる。今後「みどり推進機構」と機器貸与について連絡調整を図っていく。
第2四半期	④松本入町有林（竹林）の整備にあたっては、竹チップパー機を、みどり推進機構より借り受けてシルバー人材センターとの業務委託を締結している状況である。シルバー人材センターが効率的な業務が実施できるよう地元自治会他と連絡を密にすることが必要である。	④竹林の整備を効率的業務を実施するためには、町有林内の放置竹林箇所等の把握し、実施箇所を検討していくことが必要となる。
第3四半期	④松本入町有林（竹林）の整備にあたっては、現地調査によりシルバー人材センターが効率的な業務が実施できるよう竹チップパー搬入経路の整備を行なった。地元自治会他と連絡を密にすることが必要である。	④松本入町有林（竹林）の整備については、竹チップパー搬入経路の整備が必要となり作業着手が遅れたが、町の竹チップパーを活用して、次期四半期早々に作業開始する予定である。
第4四半期	④松本入町有林（竹林）の整備にあたっては、竹チップパー機を、みどり推進機構より貸与されシルバー人材センターとの業務委託を締結した。シルバー人材センターが効率的な業務が実施できるよう地元自治会他と連絡を密にすることを心がけた。	④次年度も町有林（竹林）の整備を引き続き予定している。町からシルバー人材センターに貸与している竹チップパーを活用しての効率的な作業を予定している。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての 次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	関係課及びシルバー人材センターとの適切な連携を図り事業をすすめていく。
	第2 四半期	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	
総括（下半期も含む）		委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	関係課及びシルバー人材センターとの適切な連携を図り竹チップパー活用した町有林整備事業をすすめていくことで竹チップパーを媒介したシルバー人材の就労支援にも繋げていく。
総括（第4 四半期も含む）		②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	

		課局名	高齢者支援課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり		
施策	就労支援と雇用創出	進捗状況	100%		
KPI	有効求人倍率	本年度目標値	0.7	現状値	0.74 (1~12月)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主 な 取 組 内 容	4月			④シルバー人材センターヘウッドチップperを貸与(4/3, 4, 5, 6)	
	5月	①社会福祉法人の誘致検討 ④シルバー人材センターの請負業務拡大			
	6月			①高齢者関連の施設整備に関する窓口相談1件 ④シルバー人材センターヘウッドチップperを貸与(6/15) 6/28ウッドチップperの貸与の件、シルバー人材センターと打ち合わせ	
	7月			①7/31に開催した第1回高齢者総合福祉計画策定委員会にて、第6期の施設整備の方向性について、各委員に諮った。 ④シルバー人材センターヘウッドチップperを貸与(7/7, 8)	
	8月	①社会福祉法人の誘致検討 ④シルバー人材センターの請負業務拡大			
	9月			①9/25に開催した第2回高齢者総合福祉計画策定委員会にて、第6期の施設整備の方向性について、各委員に諮った。 ④シルバー人材センターヘウッドチップperを貸与(9/13)	
	10月			①社会福祉法人の誘致について、第6期での整備は断念し、引き続き第7期での整備に向けて検討を重ねていく。	
	11月	①社会福祉法人の誘致検討 ④シルバー人材センターの請負業務拡大		①社会福祉法人の誘致について、第7期での整備に向けて、引き続き検討を重ねていく。 ④シルバー人材センターヘウッドチップperを貸与 (11/7, 29, 30)	
	12月			①社会福祉法人の誘致について、第7期での整備に向けて、引き続き検討を重ねていく。 ④シルバー人材センターヘウッドチップperを貸与 (12/1)	
	1月			①社会福祉法人の誘致について、第7期での整備に向けて、引き続き検討を重ねていく。 ④シルバー人材センターヘウッドチップperを貸与(1/11, 12, 15, 16)	
	2月	①社会福祉法人の誘致検討 ④シルバー人材センターの請負業務拡大		①社会福祉法人の誘致について、第7期での整備に向けて、引き続き検討を重ねていく。 高齢者関連の施設整備に関する窓口相談1件 ④シルバー人材センターヘウッドチップperを貸与(2/20, 27, 28)	
	3月			①社会福祉法人の誘致について、第7期での整備に向けて、引き続き検討を重ねていく。 ④シルバー人材センターヘウッドチップperを貸与 (3/12, 13, 14, 15, 16, 26, 27, 28, 29, 30)	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	①社会福祉法人の誘致に係る施設整備については、昨年度に引き続き検討を重ねていく。 ②ウッドチップパーを町から借りて作業を行うと、請負ではなく派遣扱いになる可能性があるとのことなので、その根拠法令等の確認が必要。	①施設整備に関して、土地要件等の緩和も含め、改めて、多角的な視野で方向性を再確認する。 ②今後も継続し、ウッドチップパーの貸与を行うほか、貸与・派遣に係る根拠法令等を確認。
第2四半期	①社会福祉法人の誘致に係る施設整備について、引き続き検討を重ねていく。	①高齢者総合福祉計画策定委員会において、施設整備をめぐる現状等を委員に諮った上で、第6期の施設整備の可否と、今後必要な施設等の整備に関しての方向性を検討する。
第3四半期	①社会福祉法人の誘致に係る施設整備について、引き続き検討を重ねていく。	①高齢者総合福祉計画策定委員会において、待機者数や近隣市町の整備状況等、施設整備をめぐる現状を説明し、委員に諮った結果、次期第7期での整備を目指すこととなった。今後も高齢者やその家族等の状況を引き続き把握しながら、これからどのような形の施設が必要になるのか、その方向性を検討する。
第4四半期	①社会福祉法人の誘致に係る施設整備について、引き続き検討を重ねていく。	①施設整備については、次期第7期での整備を目指すこととなった。今後も入所待機者数や近隣市町における施設整備状況等の情報把握に努める。また、関係機関との連絡も密にし、法人誘致を目指す。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	①高齢者総合福祉計画策定委員会の意見等を踏まえ、引き続き検討を重ねる。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	①高齢者総合福祉計画策定委員会の意見等を踏まえつつ、近隣市町の施設整備方針等についても情報収集しながら引き続き検討を重ねていく。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	観光商工課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり		
施策	就労支援と雇用創出	進捗状況	100%		
KPI	有効求人倍率	本年度目標値	0.7	現状値	0.74 (1~12月)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主 な 取 組 内 容	4月			①町HPにて周知。 ②セミナーの内容検討。 ③町HPにて周知。	
	5月	①町HPにおいて企業誘致制度のPR ②求職者を対象としたセミナー・合同就職面接会の検討 ③求職者向けセミナーの実施 ④雇用支援奨励金制度についてのPR		②ビジネスパソコン基礎講座「ワード編」チラシ作成・配布及び広報ましこお知らせ版・町HP掲載。 ②合同就職面接会の三町（益子町・市貝町・芳賀町）合同検討会実施。5/8, 15	
	6月			②ビジネスパソコン基礎講座「ワード編」開催。（2回 41人） ②広報ましこお知らせ版「求職者とシニアのための巡回相談」記事掲載 会場：真岡市。 ②ビジネスパソコン基礎講座「エクセル編」チラシ作成・配布。 ②③厚労省委託事業「L.O活プロジェクト」事務局へセミナーや雇用支援奨励金制度について情報提供。	
	7月			②ビジネスパソコン基礎講座「エクセル編」広報ましこお知らせ版・町HP掲載。 ②8月実施セミナーチラシ作成・配布。 ②ビジネスパソコン基礎講座「エクセル編」開催。（2回 40人）	
	8月	①町HPにおいて企業誘致制度のPR ②求職者を対象としたセミナー・合同就職面接会の検討 ③求職者向けセミナーの実施 ④雇用支援奨励金制度についてのPR		②「接客マナー講座」開催（8/2日 11人） 「面接の受け方・履歴書の書き方講座」開催（8/23 14人） ②9月実施セミナーチラシ作成・配布。 ②商工会共催セミナー打合せ	
	9月			②「英会話講座」開催。（9/7 3人 9/14 4人） 「フェイスストレッチング講座」開催。（9/8 13人） 「ビジネスEメールの書き方講座」開催。（9/20 20人） ②市貝町・芳賀町合同就職面接会視察。 9/26 ②10月実施セミナーチラシ作成・配布。	
	10月			②「上手な話し方・聞き方講座」開催。（10/4 15人） 「印象力アップ講座」開催。（10/18 12人） ②パソコンフォローアップ講座「ワード編」（10/19, 20 17人） ②11月実施セミナーチラシ作成・配布。	
	11月	①町HPにおいて企業誘致制度のPR ②求職者を対象としたセミナー・合同就職面接会の検討 ③求職者向けセミナーの実施 ④雇用支援奨励金制度についてのPR		②「好印象を与える電話応対」開催。（11/8 12人） 「接客販売のテクニック」開催。（11/22 10人） ②パソコンフォローアップ講座「エクセル編」（11/29, 30 17人） ②合同就職面接会参加企業募集チラシ新聞折込（11/12 6,000部）	
	12月			②1月実施セミナーチラシ作成・配布。 ②合同就職面接会参加企業 21社訪問依頼 ②1月実施セミナーチラシ作成・配布。 ③栃木の就職情報誌（下野新聞発行）へ記事提供	
	1月			②「消費税免税店制度の活用で売上を伸ばす方法講座」開催。（1/12 6人）「SNS活用で集客・売上を伸ばす方法講座」開催。（1/26 35人） ②合同就職面接会参加企業 3社訪問依頼 ②面接会参加案内通知（学校36校、セミナー参加者45人） ③新成人に対して、制度PR用チラシ配布。	
	2月	①町HPにおいて企業誘致制度のPR ②求職者向けセミナー・合同就職面接会の実施 ③雇用支援奨励金制度についてのPR		②合同就職面接会の開催。（2/16 参加企業17社、参加求職者31人）	
	3月			②セミナー受講者へ現在の状況についてアンケートの実施（117名）	

	③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)	④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点
第1四半期	②求職者のためのビジネスパソコン基礎講座は、当初定員15名のところ希望者多数のため、5名増員して開催した。キャンセル待ちの方もできるなど好評である。 ②合同就職面接会を市貝町と合同で開催することになった。(参加企業、求職者が増え、選択肢が増える) ③「LO活プロジェクト」事務局から、各大学キャリアセンターや支援対象者へ情報提供されたことにより、県外在住の学生等への周知ができた。	①HPによる継続した企業誘致制度のPR。 ②今後もセミナーの開催を予定しており、受講者募集に力を入れるとともに、各地で開催されるその他のセミナーについても情報を発信する。 ③制度の周知方法について検討する。
第2四半期	②求職者向けセミナー定員は、15名としている。内容によっては定員を超える講座があった。 ②英会話講座は商工会単独開催を予定していたが、共催で開催することにより、事務の合理化が図れた。 ②他町の合同就職面接会を視察した結果、改善すべき点を洗い出す必要がある。 ③昨年度、チラシを町内事業所、および全戸配布により周知したところだが、今年度は、主に町ホームページだけになっており、検討が必要。	①HPによる継続した企業誘致制度のPR。 ②受講者募集については、チラシ、広報ましこお知らせ版、町HPで周知しているが、定員に満たない講座もあるため、周知方法、内容の検討が必要。 ②2月に実施する合同就職面接会に向けた準備。 ③今後、移住・定住推進計画策定委員会でも周知について検討する。
	②ビジネスパソコン講座は、2週に渡って前回開催したが、今回は2日連続開催としたため、参加し難いとの意見があった。開催方法を検討する必要がある。 ②観光協会に後援いただいているセミナーの募集チラシを、観光協会会員宛送付してもらい、事務の合理化が図れた。 ②合同就職面接会参加企業募集チラシを、商工会から会報と一緒に会員宛に発送してもらい、事務の合理化が図れた。 ②合同就職面接会参加企業が目標としていた15社に達していないため、再度募集をする必要がある。 ③移住定住推進計画検討委員会時に、成人式での配布したらどうかの提案があったため、成人式担当課へ配布依頼を検討する。	①HPによる継続した企業誘致制度のPR。 ②1月開催予定のセミナーは応募者数が少ないため、観光協会から受講者募集について、再度周知してもらおう。 ②2月に実施する合同就職面接会に向けた準備。 ③成人式参加者及び東京で開催される移住フェアにおいて、合同就職面接会の開催案内と、雇用支援奨励金についてPRする。
第4四半期	②免税店のセミナーは参加者希望者が少なく、事業者や起業希望者への働きかけの工夫が必要である。 ②SNS活用講座は定員を超えるセミナーとなり、好評である。 ②合同就職面接会は、参加企業数に対して求職者数が少なかった。 ②次年度実施するセミナーの内容及び実施月についての検討をした。 ②アンケートの経過報告では、セミナー受講者のうち就職した人は14人、創業者3人、新規雇用者は1人である。また、合同就職面接会参加企業が採用した人は6人であり、一定の成果があった。 ③成人式で制度PR用チラシを配布し周知を図り、今後の効果を期待している。	①新規町内進出病院の話があるため、企業誘致審議会の開催について5月頃から検討。 ②求職者・事業主にとって魅力的な講座を開催(6月～12月)し、就職へとつなげて行く。 ②面接会を実施しても求職者が少ないため、魅力ある周知方法の検討。 ③雇用支援奨励金制度の企業へ向けたPR方法の検討。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての 次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	関係機関と連携し、事業を推進する。 UIターンを見据えた求人のアプローチについては、関係各課・関係団体と連携を図り実施する。 また、専門的知識については県産業振興センターとの連携により、専門家の派遣事業を実施している。今年度は2件の依頼があり今後も実施する。
	第2 四半期	②意見・提言 業種等によっては専門知識等スキルを有した人材が必要となることから、都内からのUIターンを見据えた求人のアプローチの仕方、パイプ等のコネクションについての支援等を検討願いたい。	
総括（下半期も含む）	第3 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	関係課や関係団体と連携を図り事業を推進する。
	総括（第4 四半期も含む）	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	

		課局名	観光商工課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	観光の基幹産業化		
施策	観光客誘客の拡大	進捗状況	100%		
KPI	観光客入込数	本年度目標値	220万人	現状値	257.9万人
KPI	観光客宿泊者数	本年度目標値	24,000人	現状値	47,110人
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月			②「益子木綿の工房」開催内容について打合せ。4/11。 ②「益子木綿の工房」募集開始(メディアへ情報提供)。 ②「益子の水藍物語」開催内容について打合せ。4/13。 ②「食と農の体験物語」開催内容について打合せ。4/19。 ⑥全国宣伝促進販売会議4/18。エクスカッション実施。4/19、20。 ⑦町発行物の送付。	
	5月	②ラーニングパッケージの検討・情報発信・事業実施。 ③レンタサイクル事業について連携等の検討。 ④第2期平成館改修事業設計業務。 ⑥前・土祭の実施に向け各地域との調整。DC事業の実施。 ⑦益子大使による観光PR活動への支援。		②「益子木綿の工房」開催(第1回)5/21。参加者17名。 ②「益子の水藍物語」開催内容について打合せ。5/16。 ④平成館支援プロジェクト会議。5/18。 ④平成館改修事業について設計業者との打合せ。5/26。 ⑥DCおもてなし委員会(おてまっ?)。5/18。 ⑦町発行物の送付。	
	6月			②「益子木綿の工房」開催(第2回)6/18。参加者13名。 ②「益子の水藍物語」募集開始(メディアへ情報提供)。 ④平成館改修事業についてデザイン会社現地視察。6/20。 ⑥土祭合同会議開催。6/22。 ⑥DCおもてなし委員会(おてまっ?)。6/2、6/16。 ⑦町発行物の送付。	
	7月			②「益子の水藍物語」開催(第1回)7/9。参加者16名。 ②「益子木綿の工房」開催(第3回)7/16。参加者8名。 ②「里山ガールズ」開催内容について打合せ。7/20。 ⑥3地区ごとに前・土祭の企画内容について検討。 ⑦町発行物の送付。	
	8月	①観光戦略会議の設置に向けた組織づくりの検討。 ②ラーニングパッケージの検討・情報発信・事業実施。 ③レンタサイクル事業について連携等の検討。 ④第2期平成館改修事業設計業務・工事発注。 ⑤各種パンフレットなどを統合した情報誌の検討。 ⑥前・土祭の実施に向け各地域との調整及び開催。DC事業の検討。 ⑦益子大使による観光PR活動への支援。		②「ましこのドレッシング」募集開始(メディアへ情報提供) ②「ましこのドレッシング」開催(第1回)8/19。参加者10名。 ②「益子木綿の工房」開催(第4回)8/20。参加者7名。 ②「里山ガールズ」開催内容について打合せ。8/21。 ②「益子の水藍物語」開催(第2回)8/27。参加者20名。 ②「里山ガールズ」募集開始(メディアへ情報提供) ⑥3地区ごとに前・土祭の企画運営内容の検討。 ⑦町発行物の送付。	
	9月			②「ましこのドレッシング」開催(第2回)9/23。参加者10名。 ②「益子木綿の工房」開催(第5回)9/17。参加者6名。 ④平成館改修事業について、デザイン会社と意見交換。9/19。 ⑥3地区ごとに開催内容について最終調整及び準備。 ⑥前・土祭益子地区開催。9/30。 ⑦町発行物の送付。	
	10月	①観光戦略会議要綱設置、委員選出、第1回観光戦略会議開催予定。 ②ラーニングパッケージの情報発信・事業実施。 ③レンタサイクル事業について連携等の検討。 ④第2期平成館改修工事。 ⑤各種パンフレットなどを統合した情報誌の検討。 ⑥本土祭の実施に向け各地域との調整。DC事業の検討。 ⑦益子大使の委嘱(法師人)及び観光PR活動への支援。		②「益子木綿の工房」開催(第6回)10/22。参加者12名。 ②「里山ガールズ」開催(第1回)10/7。参加者9名。 ②「ましこのドレッシング」開催(第3回)10/9。参加者10名。 ⑥前・土祭田野地区開催。10/1。 ⑥前・土祭七井地区開催。10/14。 ⑦益子宣伝部長委嘱(西谷和希)。10/15。 ⑦益子大使委嘱(宗次郎)。10/21。 ⑦町発行物の送付。	
	11月			②「益子の水藍物語」開催(第3回)11/11。参加者8名。 ②「益子木綿の工房」開催(第7回)11/19。参加者13名。 ②「里山ガールズ」開催(第2回)11/25。参加者7名。 ⑦益子宣伝部長委嘱(井上咲楽)。11/2。 ⑦益子大使(川口、仁村)陶器市で益子焼使おうPRイベント。11/5。 ⑦益子大使委嘱(法師人尚史)。11/30。 ⑦町発行物の送付。	
	12月			①観光戦略会議の開催に向け骨子等の準備 ②「益子木綿の工房」開催(第8回)12/17。参加者12名。 ④平成館改修工事契約。12/7。 ⑥土祭実行委員会の開催。12/11。 ⑦益子大使(仁村)はが路マラソン参加。12/17。 ⑦町発行物の送付。	
	1月			④平成館改修工事工程会議。1/10 ⑥土祭実行委員会。1/24 ⑦町発行物の送付。	
	2月	①第2回観光戦略会議開催予定。 ②ラーニングパッケージの情報発信・事業実施・事業報告会。 ③レンタサイクル事業について連携等の検討。 ④第2期平成館改修工事。 ⑤各種パンフレットなどを統合した情報誌の検討。 ⑥本土祭の実施に向け各地域との調整。DC事業の検討、準備。 ⑦益子大使による観光PR活動への支援。		④平成館改修工事工程会議。2/26 ⑦町発行物の送付。 ⑦益子焼を使おう条例PR用。益子焼の送付。2/27	
	3月			①庁内打合せ 3/1 参加者6名 ①関係団体打合せ。3/16 参加5団体 ②「里山ガールズ」開催(第3回)3/17。参加者9名。 ②「ましこのドレッシング」開催(第4回)3/25。参加者11名 ④平成館改修工事完了。3/23 ④平成館改修次期工事打合せ会議。3/28 ⑥土祭実行委員会。3/29 ⑦町発行物の送付。	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	②ラーニングパッケージ2事業について、予定通りの進捗。今後も主催団体と連絡を密に意思疎通が必要。 ③DCのおもてなし委員会のサイクリングマップ作成事業の中で検討が必要。 ④平成館改修事業について外部及び専門家からの意見聴取により、設計について再検討が必要。 ⑤実行委員と地区委員との意見交換会を実施。地区ごとに進捗に差がある。 ⑥プレDC事業への参加、実施。好反応。 ⑦町発行物及び観光PR用資料を毎月送付。今後も継続が必要。 参考：H29陶器市（9日間）：414,618人 H28陶器市（10日間）：413,900人	②現在申請予定の1事業について協議中。適切な時期での受付・情報発信に努める。 ③今後拠点についての検討。 ④外部及び専門家からの意見聴取内容について設計への反映を検討。工事発注時期の検討。 ⑤地区委員会への参加。開催内容の検討。 ⑥おもてなし及び旅行商品造成委員会への参加・協力・支援。 ⑦新規イベントなどの情報提供。参加イベントなどの検討。
第2四半期	②ラーニングパッケージ3事業について、予定通りの進捗。今後も主催団体と連絡を密に意思疎通が必要。 ③設計に関する進捗状況の遅れが見られる。 ④地区委員を中心に開催内容の検討。3地区共通の課題・予算の検討。	②申請4事業について全て協議済。適切な時期での受付・情報発信に努め定員確保に努める。 ③工事発注に向けてのスケジュール調整。 ④前・土祭田野及び七井地区の開催向け滞りがないよう準備を進める。
第3四半期	②ラーニングパッケージ4事業について、予定通りの進捗。今後も主催団体と連絡を密に意思疎通が必要。 ③前・土祭3地区において開催。来場者数6,200人。 ④益子大使及び益子宣伝部長の委嘱。大使7名、宣伝部長2名。	①第1回観光戦略会議開催予定。 ②申請2事業が開催終了。残り2事業について適切な時期での受付・情報発信に図り定員確保に努める。 ③工事完成に向け進捗管理等の調整に努める。 ④来年度の本土祭に向け、アート運営委員会及び3地区委員会において企画内容の進捗について調整を図っていく。 ⑤益子大使及び益子宣伝部長に対し、町発行物や食の提供により効果的なPRを依頼。
第4四半期	①関係団体打合せにて骨子（案）検討。 第1回観光戦略会議に向け、関係団体への意識の方向付けがなされた。 ②ラーニングパッケージ4事業について、予定通り終了。 ③2期工事完了。2期工事において設計の調整が遅れたため発注時期が遅くなってしまった。平成館改修次期工事に向け設計調整。 ④前・土祭3地区について予定どおり開催することができ、好評であった。3地区の来場者数は6,200人。 ⑤「益子焼を使おう条例」PRのため、益子大使及び益子宣伝部長に益子焼を送付。益子町のPR・宣伝に協力いただいた。	①次年度上半期の第1回観光戦略会議開催に向け、関係団体との調整を図る。 ②木綿の工房は継続事業で3年間終了。 ラーニングパッケージ事業については、新規開催予定団体向けの募集及び説明会を検討。 ④平成館改修3期工事の早期発注に向け準備を進める。 ⑤来年度の本土祭に向け、アート運営委員会及び3地区委員会において企画内容の進捗について調整を図っていく。 ⑥益子大使及び益子宣伝部長に対し、町発行物や食などの提供により町の効果的なPRを依頼。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	民泊等については研究を行い、滞在型の観光地をめざし、関連施設の充実や人材育成等事業の推進を図る。
	第2四半期	②意見・提言 陶器市やイベント時に宿泊できる施設が満室等になることから町外に宿泊者が流れることが想定されるので、B&Bや民泊などを促進する対策を早期に始めるべきである。	
総括（下半期も含む）		第3四半期 委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 KPI「観光客入込数」、「観光客宿泊者数」について、ともに最終目標値を上回る成果を出しているが、町内宿泊施設の稼働率・月別入込数等の詳細な情報をもって精緻に分析され、KPIの上方修正をされたい。	KPIの上方修正については、現状を分析し検討する。
総括（第4四半期も含む）			

		課局名	観光商工課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	観光の基幹産業化		
施策	外国人観光客（インバウンド）の誘客	進捗状況	100%		
KPI	外国人観光客宿泊者数	本年度目標値	450人	現状値	960人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月				
	5月	①栃木県国際観光推進協議会との連携強化 ②Wi-Fi環境の要望把握 ③多言語に対応した案内看板・パンフレットの整備 ④免税店化・クレジットカード取扱店化に関する説明会の検討		①栃木県国際観光推進協議会総会へ出席。5/11。 ⑤免税店化・クレジットカード取扱店化に関する説明会の検討。	
	6月				
	7月				
	8月	①栃木県国際観光推進協議会との連携強化 ②Wi-Fi環境の要望把握 ③多言語に対応した案内看板・パンフレットの整備 ④国道121号線などを使った他地域との連携による観光ルートの造成 ⑤免税店化・クレジットカード取扱店化に関する説明会の検討		③「英会話講座」について、商工会と打合せ。 ⑤免税店化・クレジットカード取扱店化に関する説明会の検討。	
	9月			③「英会話講座」開催（9/7 18人 9/14 20人） ④米沢市 なせばなる秋祭り出店。9/23, 9/24。 ⑤免税店化・クレジットカード取扱店化に関する説明会の検討。	
	10月				
	11月	①栃木県国際観光推進協議会との連携強化 ②Wi-Fi環境の要望把握 ③多言語に対応した案内看板・パンフレットの整備 ④国道121号線などを使った他地域との連携による観光ルートの造成 ⑤免税店化・クレジットカード取扱店化に関する説明会の開催			
	12月			⑤説明会の開催チラシ発送	
	1月			⑤「消費税免税店制度の活用で売上を伸ばす方法講座」開催（1/12 6人）	
	2月	①栃木県国際観光推進協議会との連携強化 ②Wi-Fi環境の要望把握 ③多言語に対応した案内看板・パンフレットの整備 ④国道121号線などを使った他地域との連携による観光ルートの造成 ⑤免税店化・クレジットカード取扱店化への推進			
	3月			①栃木県国際観光推進協議会総会へ出席。3/20 ①栃木県国際観光推進協議会事務担当者会議へ出席。3/20	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	①情報共有に努める必要あり。 ②H27栃木県事業で整備済。 ③H28交付金事業で多言語パンフレットおよびプロモーションビデオ作成済。 ④昨年度の実施状況を参考に、今年度の内容をより充実させる必要がある。	①今後も情報共有に努める。 ②整備要望等の把握。 ③案内看板等現地調査。 ④免税店化・クレジットカード取扱店化の12月説明会開催に向け、商工会、観光協会と協議する。
第2四半期	③町内の事業者を講師にしたことで、実態に沿った内容の講座を開催することができた。アンケートの集計結果をみると、次年度も実施して欲しい旨の回答が多い。 ④秋祭り出店時に観光ルートについて情報交換ができた。 ⑤講師の選定に時間を要し、日程を決めることができていない。	③継続的に実施ができるよう検討する。 ④国道121号線を活用した観光ルートの研究を進める。 ⑤早急に講師を決定し、準備を進める。
第3四半期	③観光協会、商工会、真岡税務署から後援をもらい、開催通知を観光協会会員及び、関税会会員宛発送してもらい、事務の合理化を図った。 ④クレジットカード取扱店は、町内金融機関の協力により24店舗増加しており、今後も協力をいただきながら取扱店舗を増やす検討をする。 ⑤免税店は、町内1店舗から3店舗に増加しており、今後も取扱店を増やすための工夫が必要。	⑤免税店化、クレジットカード取扱店に関する説明会の準備・開催及び参加者に対する手続き支援。
第4四半期	①栃木県国際観光推進協議会総会に出席し、台湾・イギリスでの海外誘客プロモーション及び販路拡大事業について報告した。各市町の事業実施報告も受け、次年度事業への情報共有が出来た。 ②セミナーは参加希望者が少なく、事業者や起業希望者への働きかけが必要である。 ③免税店登録に興味はあるものの、人や専用カウンターの設置等の問題から登録申請について検討中としている事業者が多い。	①栃木県国際観光推進協議会情報共有により、補助金等の活用について検討する。 海外誘客プロモーション及び販路拡大のため、台湾でプロモーションを予定。 ③免税店導入については、複数店舗で専門カウンター（一括カウンター）を設置できるかの検討をする。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	関連事業と連携し、外国人誘客に繋がるよう事業の推進を図っていく。 国際工芸交流事業では、益子陶芸美術館/陶芸メッセ・益子のSNS（フェイスブック、ツイッター）を活用し、活動報告や施設紹介などを行い、現在は、海外向けに英語の文章での紹介も少しずつではあるが、発信を進め始めている。 招聘・公募作家自身のSNSでの発信については、発信している作家もいた。（任意としている。） 外国人誘客につなげる活動については、今後の広報のやり方など検討を図る。
	第2四半期	②意見・提言 国際工芸交流事業との関連で、ただ海外作家を招へいし町内での交流事業を実施するだけではなく、「外国人観光客の誘客」の施策との関係性を考え、招へい作家に自身のSNSでの発信、投稿交流サイトへの記事掲載等を採用条件にするなど、本事業の世界的な拡散から外国人誘客につなげることを検討すべきである。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	KPIの上方修正については、現状を分析し検討する。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 KPI「外国人観光客宿泊者数」について、最終目標値をも大きく上回る成果を出している。国内観光者向けKPIと同様、町内宿泊施設稼働率・月別入込数等を分析しKPIの上方修正をされたい。	